

運動会を通して子供たちに育ってほしいこと

長い夏休みが終わり2学期がスタートしました。静まりかえっていた園舎に元気な子供たちの声に戻ってきました。

さて、9月は下旬に運動会を行うことから、幼稚園の活動もそれに応じた活動が多くなります。幼稚園では、年齢に応じてこれまで積み重ねてきたことをひとつの形にしてご家族の皆さんに見ていただくと考えています。

- ◆ 3歳児は、初めて参加する運動会です。『友達や先生と一緒に体を動かすことの楽しさ』を。
- ◆ 4歳児は、2回目であり運動会を具体的にイメージすることができ、その取組の中で『がんばった』という満足感と共に、年長児との活動により『あこがれの思いや多くの刺激を受けてほしい』と。
- ◆ 5歳児は、幼稚園生活最後の運動会。『自分の目標に向けて頑張ったという満足感』、『友達と競い合うことの楽しさ』、『友達と一緒に力を合わせて取り組んだことへの達成感』を。

上記がそれぞれの学年で味わってほしいことであり、保育の重点となります。

ご家族の皆さんは、次のことをポイントにしてお子さんにかかわってください。

結果よりも過程が大切であることを基にお子さんが頑張っていることを応援してください

7月号でがんばりまめの話をお伝えしましたが、「〇〇ができるようになりたい」という思いを実現するには、諦めないこと（気持ちを持続すること）が大事です。その「諦めずに取り組もうとする気持ち」を応援してください。‘継続は力なり’できっとできるようになると思います。担任に関わり方を聞くことも一つであると思いますが、頑張ろうとしているお子さんにどうぞつきあってやってください。

「頑張れ！」よりも「頑張っているね。」 「さすが〇〇ちゃん。」 「〇〇ができるようになったね。」 「すごいね。」 「応援しているよ。」 「一緒にやってみようか。」等々。たくさん声をかけ、「できた！」 「やったあ！」 「嬉しい！」の気持ちをお子さんと共感できると良いなあと思います。

お子さんの周りの一番身近な私たち大人が自分を見ていてくれること、そしてたくさん声をかけてくれることを子供たちは敏感に感じとりそれを喜びと捉え、自信をもち、その自信が次への意欲となってひとまわり大きく成長してくれることと思います。

園長 石川 久子